

広島発達サポートセンター らしさ

広島発達サポートセンター「らしさ」の役割と連携について

関係機関（先生・保健師など）の皆さまの「気づき」を、診断前や待機中の「支援」に繋ぐために

発達障害の専門医療機関は現在、受診までに長い待ち時間（最長 14 ヶ月等）が発生しています。この待機期間中、ご家庭や集団生活の場で「どう関わっていいかわからず」孤立し、疲弊してしまう親子が少なくありません。

広島発達サポートセンター「らしさ」は、受診を検討されている方、また待機期間中の方を対象に、相談を受け、ニーズを整理する事で、状態に応じたつなぎ先へご案内し、待機期間を安心の「準備期間」に変えるため、保護者と関係機関の皆様が同じ方向を向いて、今日からできる具体的な手立てを一緒に見つけて実践する、広島県が設置した新しい相談アセスメント窓口です。

※「らしさ」は診断の有無を問わず「本人が生まれ持った『その子らしさ（強みや魅力）』の芽を大切に伸ばす」という、特性を前向きに捉えることができるという意味を含めた名称です。

■ 「らしさ」相談・アセスメント連携のフロー

相談受付には、必要に応じて、お子さまが通う関係機関または担当保健師との「連携同意」をお願いさせていただきます。ご家族さまと先生（または保健師さま）の双方にスクリーニングチェックシートにご回答いただくことで、客観的な現状を可視化し、今後の支援につなげます。

ステップ	おうち（ご家族さま）の動き	関係機関（先生・保健師さま）の役割
① 申込・同意	・ HP や電話等より相談を受付 その際、必要に応じて、関係機関（園または保健師）との「情報連携の同意」に同意いただきます。	・ 関係機関との連携を行う場合は、ご家族さまから「らしさを利用する」という旨の連絡を受け取ります。
② チェックシート回答	・ PC 等から、普段のおうちでの様子（スクリーニングチェックシート）に回答します。 （フォームからの入力が難しい場合はスタッフの聞き取り等で入力をお手伝いします。）	・ 送付されるコードから、園や地域での様子等について回答をお願いします。
③ 専門員面談	・ チェックシートの結果をもとに、発達相談員による面談（オンライン、対面、または移動相談）を受けます。	・ 面談の実施やアセスメント結果について、発達相談員より状況のフィードバックや助言を受け取ります。
④ 手だての実践	・ 家庭で今日からすぐ実践できる「具体的な関わり方のアドバイスを行い、家庭での実践につなげていただきます。	・ 関係機関の個別支援計画や毎日の関わりの中で、アセスメントに基づいた「集団生活での今日からできる工夫」の実践につなげます。
⑤ 医療へ繋ぐ	・ 病院の受診予約日が来た際、らしさでのアセスメントデータを医療機関へ事前に共有・引き継ぎます。	・ 医療機関での二重アセスメントを減らし、診察時間の短縮や、よりスムーズな受診・受診調整をサポートします。

☎ お問い合わせ・ご相談窓口

- 事業所名： 広島発達サポートセンター「らしさ」
- 住 所： 広島県東広島市西条町 4 1 4 - 3 1 サポートオフィスクエスト内
- E-mail： sup-rashisa@f-tutuji.jp
- HP： sup-rashisa.jp
- 電話： 0 8 2 - 4 3 0 - 5 0 5 0 （受付時間： 平日 9:00～17:00）
- FAX： 082-427-6270

広島発達サポートセンター

らしさ
rashisa